

講義⑤ ESDのE(教育)の特徴とは
どんなものでしょうか？

川嶋直



2009年7月12日(日)

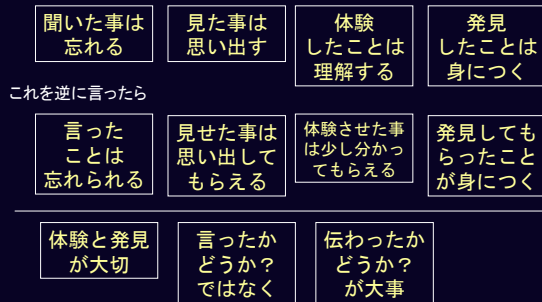
ESD×CSRを理解する7つの質問

今日の私のお話

- ①教育 とは・・・
伝えること とは・・・
- ②参加体験型の学びの構造
- ③「知る」から「行動する」への道筋

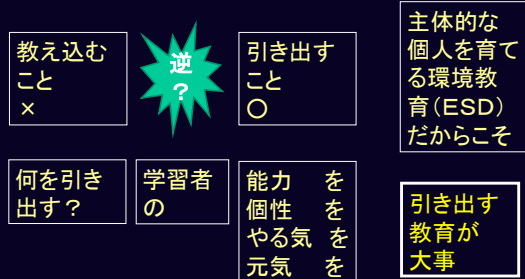
伝えるということ

中国・英国
の古い
ことわざ

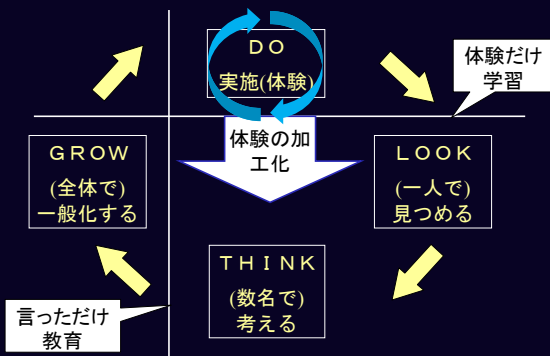


教育 (educate) とは

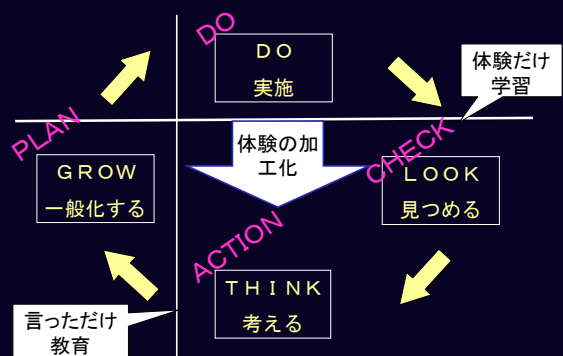
教育 (education) の語源は (educare)



参加体験型の学びの構造「学習循環過程」



参加体験型の学びとは ③
PDCAサイクルと似ている...



伝わるコミュニケーションのための 3つの要素

コミュニケーションの**内容**が良いか

コミュニケーションの**方法**が良いか

コミュニケーションの**関係**が良いか

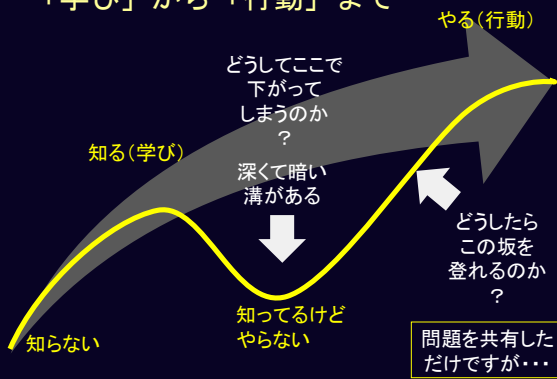
明日のために、いま始めよう
AC 公共広告機構

 **知っているを、しているへ。**

地球温暖化については、毎日、情報があふれています。私たちはそのために何をしなければならないかをよく知っています。でも、実際に行動に移している人はどれくらいいるのでしょうか。地球温暖化は深刻です。知っているだけではダメです。ささやかなことでも、何かを始めなければなりません、と訴えかけます。

テーマ「身近な環境対策」
広告会社：(株)電通北海道
制作会社：(株)電通テック/(株)札幌テレビハウス/(株)イザ
掲載メディア：テレビ/ラジオ/新聞/雑誌

「学び」から「行動」まで



環境教育から環境行動へ
「知る」から「する」へ

(段階としては)

- 第1段階 「学び」から「意識変革」へ
- 第2段階 「意識変革」から「行動」へ

上記 **から** に必要な要素を整理してみましょう

第1段階 「学び」から「意識変革」まで

環境保全の「意識」が
生まれる3要素

環境リスク
認知
(危機感)

責任帰属
認知
(責任感)

対処有効性
認知
(有効性)

これは深刻だ
かなりヤバイぞ

これは
自分の
責任だ

なんだ！
こうすれば
良くなるんだ

「環境と消費の社会心理学－公益と私益のジレンマー」
広瀬幸雄(1995)を元に、川嶋が最下段を作成

第2段階 「意識変革」から「行動」まで

環境保全の「行動」が生まれる
3要素

実行可能性
評価

便益費用
評価

社会規範
評価

僕にでも
出来そうだ

お金がなく
ても参加
出来そうだ

僕も行動
しないと
恥ずかしい

「環境と消費の社会心理学－公益と私益のジレンマー」
広瀬幸雄(1995)を元に、川嶋が最下段を作成